



永平寺町

第23号

平成23年8月5日 発行

議会花より

★9月1日より

永平寺
町議会

ホームページをリニューアル

よこなかたこやあひん よこ親しみやあひん!

6月定例議会より	2
予算案審議	3~4
議会改革特別委員会報告	4
各委員会報告	5~6
一般質問	7~22
行政チャンネル週間番組表	23
点訳サークル紹介・編集後記	24

上浄法寺「浄めの滝」

(撮影:長岡広報委員)

皆様におかれましては平素より永平寺町議会に対しましてご指導ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在「行動する議会」「開かれた議会」「提案する議会」の3本柱で議会運営に取り組んでおります。

5月に議会報告会を開催し、7会場で町民108人の方にお越しいただきました。このときの多くの貴重なご意見を、議会・委員会活動及び各議員活動に活かしていきます。また、運営の上でいろいろなご指摘をいただきました。11月に開催予定の報告会では、より良い報告会ができるよう企画し、皆様の声が町政に反映され、ご理解と信頼をいただける議会となるよう努めてまいります。

また、2月に健康福祉施設(永平寺温泉)について町民との意見交換会を8会場で開催し、「推進」「慎重」の多くのご意見を議会として聞かせていただきました。皆様のご意見を踏まえ、5回に渡り温泉利活用特別委員会を開き、行政と運営業者とが結ぶ際の『募集要項・要求水準書』に町民の声が反映されるよう、活発な議論を展開しました。

現在どのような提案の業者が選ばれ、議会に示されるか、その結果を十分考慮し、議員は議会での賛否の議決に臨んでまいります。

今後とも、町民本位・町民感覚で、活発に議論する議会となるよう、強くすすめてまいります。

平成23年第2回永平寺町議会定例会は、6月1日から同月13日までの13日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町副町長の選任に、永平寺町松岡葵1の田中博次氏を同意しました。

また、永平寺町人権擁護委員候補者に、永平寺町山王の浅野清美氏が適任とされました。

第2回定例議会議案

平成22年度永平寺町一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	永平寺町暴力団排除条例の制定	可決
平成22年度永平寺町介護保険特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	永平寺町税条例の一部を改正する条例の制定	可決
永平寺町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	永平寺町景観条例の制定	可決
永平寺町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	永平寺町副町長の選任	同意
平成22年度永平寺町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報告	永平寺町人権擁護委員候補者の推薦	適任
平成22年度永平寺町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告	報告	安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた要請	採択
平成23年度永平寺町一般会計補正予算	可決	安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた意見書	可決

【追記】

竹澤一敏議員が亡くなられたことにより、町議会に1名の欠員が生じましたが、選挙期日(平成22年7月11日)から3ヶ月経過しており、議員の繰上補充はできません。また、補欠選挙は3名以上(定数の1/6以上)欠員が生じ、かつ残任期間が6ヶ月以上の場合に実施いたしますが、今回は欠員が1名なので、実施しません。ただし、3名に満たない欠員でも補欠選挙を実施する場合がありますが、それは、残任期間が6ヶ月以上で町長選挙が行われる場合に限りです。

訃報



去る七月五日、竹澤一敏議員が闘病の甲斐もなく永眠されました。

竹澤議員は平成十四年に旧永平寺町議会議員に初当選以来、副議長、予算特別委員長など歴任され、その功績は誠に顕著なものがありません。

特に、消防の充実・統廃合にお力を注がれておられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

表紙の写真【浄めの滝】

永平寺町浄法寺山麓にある小さな滝。浄法寺山青少年旅行村に続く林道の途中にある。落差6mの直瀑。浅いが滝つぼもある。

一般会計補正予算

賛成多数で可決

6月1日開催の平成23年第2回永平寺町定例議会本会議において、当委員会に付託された歳入歳出総額1594万3千円を追加する平成23年度永平寺町一般会計補正予算は、6月9日に委員会を開催し、慎重に審議し審査をし、その結果、賛成多数で原案のとおり可決をいたしました。

本庁舎の耐震診断による、基礎部分のボーリング調査費399万8千円、NHKのど自慢公開番組の会場設営費用の増額

150万4千円、雪により損傷した浄法寺山青少年旅行村の施設補修費96万1千円、新たに入団した新規入団の消防団員の被服貸与費の増額27万9千円、志比塚地区の耐震性貯水槽周辺の舗装工事55万9千円、小中学校の校舎改修や修繕費用454万1千円が、主な補正内容でした。

審査中における委員からの主な質疑や理事者の答弁については、別記の「予算審議」に記述のとおりです。

平成二十三年度

一般会計補正 予算案審議

総務課

問 火災共済で今回収入が出たが、町の施設はすべて保険に入っているのか。

答 ほぼ全施設、共済保険に加入しています。総合賠償責任保険というのにも入っています。

問 除雪車で除雪の時の物損事故の対応は？

答 町の施設に損害を与えたときは保険は出ませんが、一般の場合は、歳入という形でなく、対応しています。

企画財政課

問 NHKのど自慢大会を盛り上げるために、住民を含めた実行委員会を組んだらどうか。

答 町民の皆さんにぜひとも出場を含めて、ご参加下さるよう勧めているところです。実行委員会はありません。

問 地域コミュニティ活動支援事業補助金についてですが、初めて聞きます。新たな事業なら、要綱を示して議会で相談してほしい。

答 大変申し訳ない。次の機会にお示しします。6月1日からの施行です。町内会が主体的に地域の課題の解決や地域コミュニティ活性化の取り組みに支援するものです。

問 西野中の地域コミュニティ活動支援事業ですが、詳しく説明して下さい。

答 西野中の避難所です。面積は580㎡、区の地面で、舗装して、避難所と駐車場を兼ねた整備をしたという申請です。

監理課

問 本庁舎の耐震診断の結果、補強計画を実施されるということですが、基礎の松の木を杭を目視するためのボーリングはサンプルングなのか。ま

た、庁内の業務や来庁者に支障はないのか。

答 サンプルングということではありません。実際に松の木の状態を目で見るとのことです。当然、業務に支障のないようにしたいと思っています。

問 他の支所の耐震診断はいつするのか。どうして進まないのか。旧松岡の中央公民館もかなり悪いです。どうするのか方向性を出してほしい。

答 本庁舎の診断は22年度でした。23年度には予算は出しておりませんが、早期にしたいと思っています。



浄法寺山青少年旅行村バンガロー

商工観光課

問 浄法寺山青少年旅行村のバンガローの補修が必要であるとのことですが、詳しい現状の説明を求めます。

答 5棟中、4棟が破損しました。1棟も補強を要します。使用したいという問い合わせもありますので、きちんとした修理を急いでいます。

消防本部

問 新規団員12名が入団とのこと、年齢とか、職業とか詳しく教えて下さい。

答 40代が一番多いかなと思ってます。1/3は町内勤務、2/3は町外勤務です。防災訓練らの活動をしていますと、30代、40代の方々から消防団に入っているいなあといい声を聞いています。いい動向だと思っています。

問 今、団員の定数は315人といいことですが、消防職員が少なくな



永平寺町消防団

答 よく調査し、協議しながら照度の調査をやって確認していきます。

問 この改修にあたっては、節電のこともあり、LEDの照明にした方がいいのではないかと

答 もっともだと思えます。そういうことも視野に入れていき、検討していきます。

っている、また、統合していく中で、定数にこだわらずに、若い方々に入団していただけたらなと願っています。

答 どんどん入団していただいで、定数の条例改正もさせていたいただきたいと思っております。

学校教育課

問 御陵小学校の教室の照度が足りないということと、改修ですが、他の学校も照度が足りないといよく言われています。調査の必要があります。

問 6月補正予算を見ると、初めから当初予算で計上できるものがいくつもある。後出しジャンケンのような予算である。財政課長の方で厳しく対応してほしい。

答 6月補正、緊急かつやむを得ないものについてのみ各課に補正予算を上げてほしいということですが、今回の学校教育の予算につきましては、児童の安全の観点から緊急に必要だろうと判断させて頂きました。

議会改革特別委員会報告書

議会改革特別委員会委員長

滝波 登喜男

皆様の声を
町政に!

議会報告会

定期開催!!



議会では、昨年4月と今年2月、町民との懇談会や意見交換会を開催してきましたが、この取り組みを継続的なものにするため、議会報告会という形で5月と11月に年2回定期開催することを決めました。

これは、町民の声をより町政に反映するため、5月には当初予算について理解してもらう、11月には次年度の事業計画に生かすという位置づけで開催いたします。

今年は、5月22日から町内7会場を議員が3班に分かれて、議会報告会を開催しました。町民の参加者数は、延べ108名で多くの意見や質問が出されました。議会では、これらの意見・質問に対し、回答や今後の取り組み方などを整理し、近日

中に回答書を発行する予定です。

今回の私どもの反省点としては議会からの報告項目が多すぎて、議会からの説明に時間がとられてしまいました。また、開催のPRも不足していました。

次回は、報告会というよりも皆さんからの声を聴き、それに答えていくことを主にした懇談会にしたいと思っています。いずれにしてもフリーな雰囲気の方にしたいと願っています。

次回は、11月に開催予定ですので、「議員に一言、言ってやろう」と言うぐらいののりで足を運んでいただければ幸いです。多数の参加を心より期待しています。

総務常任常任委員会

委員長 伊藤 博夫



副町長
田中博次氏
に決まる

当委員会は6月10日全委員出席のもと提案されている議案について審議しました。

協議内容

○承認第2号 平成22年度永平寺町一般会計補正予算の専決処分について

総務費（歳入）基金積立金 2億276万4千円
：全員一致で承認

○承認第4号 永平寺町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

国民健康保険課税額（世帯割・所得割・資産割）最高限度額50万円 51万円に（1万円の増）

後期高齢者支援金等課税額の最高限度額13万円が14万円に（1万円の増）

介護納付金課税額の最高限度額10万円が12万円に（2万円の増）：全員一致で承認

○報告第1号 平成22年度永平寺町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

企画財政課

歳入

特別交付税（地方交付税）1億747万2千円（確定分）

市町振興プロジェクト補助金（県支出金・県補助金）139万7千円

市町村振興協会市町村交付金（雑収入・雑入）189万8千円（確定分）

歳出

基金積立金（総務費・総務管理費）2億276万4千円

総務課

歳出

本庁舎建物基礎調査委託料399万8千円

のど自慢会場設備設営撤去委託料150万4千円

地域コミュニティ活動支援事業補助金50万円

補助金交付要綱の提出を要求しました。

消防本部

歳出

消防施設整備工事

（松岡東部消防施設新築工事）935万9千円

地域活性化交付金の活用「国の補正予算（1）号」

きめ細やかな交付金：全員一致で承認

○議案第23号 永平寺



東部分遣所（志比塚）

町暴力団排除条例の制定について

この条例は町民の安全で平穏な生活を確保し、永平寺町における社会活動の健全化を図るために制定しました。委員から、今年度早々に警察関係者や各種団体、住民と連携した大会の開催の意見がありました。：全員一致で承認

○議案第24号 永平寺町税条例の一部を改正する条例の制定について

附則Ⅱ（東日本大震災に係る雑損控除額等の特例）（・住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例）（・固定資産税の特例の適用を受けようとする者がすべき申告等）：全員一致で承認

○議案第25号 永平寺町景観条例の制定について

永平寺町らしい特色ある景観の形成を目指して、平成20年に「永平寺町景観計画」が策定されており、この計画で定めた目標や基準等の内容を、具体的に進めていく条例が制定されました。：全員一致で承認

○議案第26号 永平寺町副町長の選任について

永平寺町松岡葵一丁目56 田中 博次氏

○諮問第2号 永平寺町人権擁護委員候補者の推薦について

永平寺町山王第14号1番地4 浅野 清美氏

：全員一致で承認

○その他

・松岡地域で計画している防災無線については、その都度経過報告を。

・放射線濃度の観測所を永平寺町内に要請しては。（敦賀原子力発電所から松岡地域まで46km・上志比地域まで56km）

産業建設常任委員会

委員長 多田憲治

当委員会は6月13日提案されている議案について審議しました。

○承認第2号 平成22年度永平寺町一般会計補正予算の専決処分承認について、農林水産業費予算では、制度改正により農地集積実践事業補助金の減、競争力のある福井米づくり（大粒化）事業補助金五二〇万九千円の減額補正、また、土木費予算におきましては、道路新設改良費で、県の発注工事が繰越しのため県営道路整備事業負担金一〇〇〇万円の減額予算を承認しました。

○報告第1号 平成22年度永平寺町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（吉野地区）で、一〇〇〇万円。

また、消雪施設リフレッシュ工事（東古市地区）二〇一九万七千円、消雪設備改修工事（栃原地区）八三〇万二千円の繰越しと、計算書の報告について承認しました。

○報告第2号 平成22年度永平寺町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について、商工費の永平寺門前のにぎわい創出事業で22年度に、完成できなかったため、七五九万五千円翌年度繰越する報告について承認しました。

その他

- ・23年度の主要工事の進捗状況について。
- ・東日本大震災を教訓に、当町のハザードマップの再説明会を。
- ・下水道の処理施設の統合問題また、使用料金の統一の時期は。
- ・除雪による破損ヶ所の修繕時期は。

・本年度も開催予定の九頭流フェスティバル大燈籠ながしで、3月の東日本大震災を受けた復興的な配慮は。

これらについて、委員また、委員外議員より理事者に質問、意見がありました。

議会審議

今議会に提出された、「安心・安全な地域社会づくりと農業の発展に向けた要請」について審議しました。今回の三陸沖の地震、それにより大津波により、原発事故の農業対応、また、戸別所得補償制度の充実、県産農産物のブランド力強化対策、TPP国際貿易交渉、鳥獣被害虫による被害対策、農村・地域コミュニティを守る対策を踏まえ、町はもとより福井県の農業者が安心・安全に営農活動を維持し農業を発展していくため、関係機関に要請し意見書を提出することを委員全員で決めました。

また、委員より早生小麦新品種「福井県大3号」の普及のための説明があり委員会が審議しましたが、結論に至りませんでした。



ピクニックコーン畑

教育民生常任委員会

委員長 金元直栄

6月定例会開催中の6月10日、当常任委員会を開催し、専決処分や補正予算案や条例案について審議しました。

○専決処分や補正予算案では

- ・高齢者家庭への雪下ろし助成について要件は整えられているのか。
- ・介護にかかる小規模多機能事業所への補助増の理由と、当初計画の補助の確保には町も努力を。また、施設の利用状況はどうか。
- ・ガン等の検診率アップ増の状況は。
- 等の意見が出されました。

○その他では

- ・地域における悪臭問題へ町の取り組みは？
- ・来成人式めざしてへの準備状況への問い。
- ・学校での体調管理問題。
- ・学校に太陽光発電を設置したが、その利用状況の報告を！
- ・学校の通学路の整備や安全確保、夜間照明の整備の要望がある。
- ・学校の防災マニュアルはどういうところを見直すのか。
- ・健康診断や検診、600名の調査をしたというが、その理由等、資料で示してもらいたい。
- 等の意見が出され、それぞれに答弁がありました。



歩道の無い通学路（吉野小学校付近）

一般
質問

そこが聞きたい! 問&答

16名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一日も早く健康福祉施設の完成を求める 町民の声に応えるべき町政・議会! なぜ完成が 24年8月から25年3月に延びたのか?



上坂 久則 議員

問 健康福祉施設(永平寺温泉)の完成は?

答 町民の思いを発展に繋げる

問 町民皆様と議会との対話集会の中で「健康福祉施設(永平寺温泉)の完成がなぜ延長されたのか」といった指摘と、一日も早い完成を望む要望がありました。議会の中では十八名のうち七名が健康福祉施設建設反対投票をしました。

町村合併の経過の中で志比村議会は満場一致で温泉掘削を議決しました。過疎にならず福祉の拠点としての位置づけで展望を託した事実です。温泉掘削が認められず健康福祉地区としての位置づけが不明確であれば、絶対に合併しなかったのは歴然たる事

松本町長は合併後の選挙において選挙公約として掲げ、町民各位の事業推進の信任を受けました。町長の真意と今後の展望を聞きます。

でいただける施設を整備し、町民の絆・地域交流を図りながら永平寺町の発展に繋がります。

町長 五年間、町民各位から様々な形で意見を聞き、整備内容・費用等多くの検討を重ねてきました。町民に愛され喜ん

町長 五年間、町民各位から様々な形で意見を聞き、整備内容・費用等多くの検討を重ねてきました。町民に愛され喜ん

永平寺町の災害 予防と安心対策は?

問 災害の想定とは?

総務課長 平成十九年三月永平寺地域防災計画を策定しています。この中で風水害・土砂災害・雪害・地震災害等を想定しています。

問 町民の安全確保のために強制退去は可能か?

総務課長 人命確保のためには、町として勧告・指示をします。

問 車両の流出に伴い所有者が不明な場合、撤去できる法的根拠は?

総務課長 原則として、災害救助法を適用し

紙面の都合上 ①ボラ
ンティアの拠点づくり
②行政サービスの不均
衡はないのか の質疑
は割愛します。



意見交換会



7月7日上浄法寺地区土砂崩れ





酒井 要 議員

問 早期に林道大仏線の修復を

答 通行に支障をきたさないよう進めていきたい

問 大仏林道の件を言う前に、永平寺町内は大変広範囲な山があるが、林道と名のつく道は何ヶ所あるのか。

農林課長 永平寺町内の林道は、広域基幹林道大仏線をはじめとして七十四路線、総延長九万二千二百九十九mございます。

問 林業関係者には大変大きな役目を果たしているが、特に広域基幹林道大仏線の修復工事が早急に必要と思う。

農林課長 今年は例年にならない大雪により四月下旬ごろまで残雪がありましたが、冬期間の豪雪と五月の豪雨により土砂崩れや落石・倒木等により林道の通行に支障をきたしています。広域基幹林



大仏林道

道につきましては、一本杉まで数カ所に土砂崩れ、また落石等があり通行に支障をきたしてしましたので、現在、土砂除去を行っています。側溝などの破損箇所につきましては、現地確認の上、復旧したいと考えています。また草刈り、側溝の土砂除去は、今年も早期に実施したいと考えております。また松岡地区方面の広域基幹林道大仏線の土砂崩れについては、六月の中旬ころまでに復旧工事が完了する予定です。なお、福井地係につきましても土砂崩れがあり、現在復旧工事を行っています。また、その他の林道ですが、先般の大

雨により同様な土砂崩れ等がありました。順次土砂除去を行っております。また林道の維持に管理も含めて基本的には地元でいただきたいと思います。林道の草刈りや側溝・土砂の除去、また路面清掃等の小規模な維持管理を行った地区

に対し、五百㎡当たり一万円、四万円を限度として補助をしています。現在六地区から申請が出ています。地元で対応できない大規模な土砂崩れや落石・倒木等による通行止めに対しては、町が復旧工事を行っています。今後はさらに林道のパトロールを行い、通行に支障をきたさないよう進めていきたいと思

います。



大仏林道

問 広域基幹林道は生活環境保全整備事業をして、高志林業事務所が手がけた仕事だが、県との関係は。

農林課長 当初、福井県が事業主体で発注しましたが、維持管理は町の所轄になって

います。

問 林道は生活に密着した道路、冬の暖を取るための材料も必要としている町民もいます。十月以降の林道パトロールが必要と思う。

農林課長 今後は林道パトロールを行いまして、支障をきたさないよう努めていきたいと思



長谷川治人議員

問 わが町の防災・減災の観点から

答

地域防災計画の中で原発の対応や避難場所の変更等々見直していく

問 日本で最多の原発立地県民として、今後原発行政に参画を。また、放射性物質の測定について、永平寺町内に定点観測所を設置できないか。

総務課長 地域防災計画の中で原子力事故に対する対応についても県の指導を仰ぎながら積極的に検討をしていく。

問 九頭竜ダムや永平寺ダムが満杯時に決壊した場合のハザードマップを。また、永平寺町防災計画の見直しは必須では。

建設課長 ハザードマップについては、管理者である国交省や福井県を交えて協議をしていく。

総務課長 指定された避難場所に危険箇所が25か所ある。区と現地確認しながら避難場所の変更等早急に実施したい。

問 地元要望の、砂防ダムの実施見込み、農業用ため池漏水調査の発注計



漏水調査・花谷ため池

画は、また、小規模河川改修等について安全安心のために早めの対応を。

建設課長 本年度は、京善と市野々の砂防ダム設置申請を福井県に行い、現在審査中である。今後も計画的な事業採択に向け取り組む。また、

小規模な護岸の補修等については、今後も地区要望等に基づく現地の確認或いは河川パトロールにより状況を把握し、早急な対応を心がけていきたい。

農林課長 ため池漏水調査は、農業用水を使用しない時期を考慮しており、8月頃に発注したい。



九頭竜川流域防災センター

鳴鹿大堰資料館に「自転車の駅」を

利活用が高まる方策を検討する

問 来館者が平成16年度16,601人をピークに減少傾向にある。サイクリングロードを活かし鳴鹿大堰に「自転車の駅」の看板を掲げてはどうか。より多くの人に来ていただき防災について再認識の一助になれば。

建設課長 永平寺福井自転車道は、鳴鹿山鹿を起点に終点は運動公園で、これが九頭竜川右岸に整備されており、今後は当該センターに立ち寄るルートを組み込み利活用が高まるよう福井県と協議していきたい。

地域のことは自らの手で行動を

協働のまちづくりを活かした最適な制度に

問 各集落に対し、町が一定の費用の補助或いは原材料を支給して、道路や水路、広場等を住民のマンパワーで整備する仕掛けはできないか。

建設課長 地域の実情に合った環境整備等や活性化のために住民と町が協働のまちづくりを進めるにはどのような制度がよいか十分検討していきたい。



上田 誠 議員

問 元気、生き生き、いいプラン(保健計画)で町民の健康づくりの大きな推進の計画を!!

答 今年から健康推進モデル地区(8ヶ所)を定め積極的に進める。

問 日本は世界有数の長寿国となり、高齢化やライフスタイルの変化で中年の生活習慣病、高齢者の要介護者の増加が社会問題となっている。当町も町づくりの基本に町民の健康を挙げている。私も特定検診の充実、肺炎球菌や子宮頸がんワクチンの助成も要望してきた。さらに、保健事業の充実と計画の重要性を指摘し要望してきた。この計画に沿って具体的な取り組みを要望する。

町長 町は、町民の健康増進を挙げ、特定検診の実施、各種ワクチンの助成、ガン検診や子供の医療費の無料化などを実施している。今年から健康推進地区8ヶ所を設定し、保健師や推進員とともに、積極的に進める。

問 地区から地域への展開、個人別や内容別の応援体制、親子、家庭などのチャレンジ登録などの仕掛けなどで町民への周知と向上を図ってほしい。

東日本大震災の教訓から防災対策の再検討が必要!!

早急に再検討を行っていく



保健計画

町長 地区での委員会を中心に計画を進め、町民の健康づくりを進めていく。

健康福祉施設の募集要項から見えてくるもの

問 今後のリスクは①公設の為、建設費リスクの責任感がない②利用者数による不足分は指定管理料として町が負担③故障の費用は公設なので町が負担④大規模の改修も町が負担⑤2〜300万の保証金は軽い⑥鉄・塩分の高濃度は故障の高リスク。

健康施設室長 ①PF I方式でも最終的に町負担、合併特例債を利用し、負担の軽減を図る②経営状態、実績で見直し、全ては補わない③公設なので町負担、協議し、全てでない④契約期間内(10年間)は行わない。

問 東北地方を襲った東日本大震災と大津波そして原子力発電所の災害は、自然の脅威と畏敬を新たにするとともに、防災意識と対策の再検討が必要。地区避難場所の検討は。

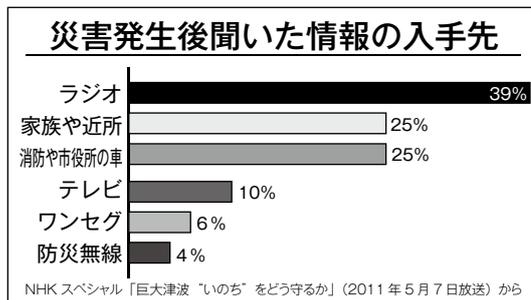
総務課長 地域の実情に応じて早急に見直しをする。

問 自主防災組織が全区に組織されているが、実践訓練のやり方、ノウハウのマニュアルが必要!!

総務課長 リーダー研修会、資機材等の購入支援

問 今災害での情報の入手先はラジオが39%、宣伝カーが25%、防災無線が4%だった。当町では、ケーブルテレビ等が充実している。災害の種類、度合いにより伝達手段も変わる場合を想定した必要性と有効性のシュミレーションをするべき。

総務課長 情報伝達は住民が最も望んだことであり、今後は災害の度合



い、種類に応じて、十分に検討し、複数の手段を活用するよう進める。

問 各種ハザードマップの活用と、地区からの有無にかかわらず説明に向いてほしい。

建設課長 マップを作成し公表で、防災に対する認識、知識、手段を活用してもらおう。内容の変更も検討し、定期的な説明会を開催する。

い予定。協議する⑤契約不履行のための保証金、低くない⑥経年劣化を防ぐ設計、メンテナンスを十分に行う。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



滝波登喜男議員

問 見えてこない温泉に対する町の思い

答 要求水準書で具体像を示す



問 事業はあくまでも目的達成のための手段である。温泉活用の目的は、介護予防、健康増進、余暇の活用であるが、この目的達成のためにどのような施設を作り、運営し、どういう効果を得たのか理解できない。今回の募集要項からどう読み取れるのか。

健康施設室長 子どもから高齢者までのすべての町民に、良質な温泉を利用していただくため要求水準書に①誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに配慮すること。②身体障害者や高齢者に利用しやすい施設にすること。③健康増進のための健康教室の実施。など、具体的に提案を求めています。

東日本大震災の教訓を生かせ 各種計画の見直しを急げ

災害の想定を見直し、計画策定に

問 想像を絶する被害をもたらした東日本大震災。この教訓に学び、防災計画・防災マップ・耐震補強計画の見直しを早急に行う必要がある。

総務課長 原発事故については、県の原子力委員会からの指導を受けます。

建設課長 九頭竜ダムの耐震補強計画は、今年策定しますが、支所については、統廃合などの情勢の変化も考え、早い段階で耐震化を図ります。

環境課長 役場本庁舎の耐震補強計画は、今年策定しますが、支所については、統廃合などの情勢の変化も考え、早い段階で耐震化を図ります。



永平寺ダム



永平寺ダム管理事務所

エコ活動普及啓発の好機

節電対策の地区説明会の実施

問 震災を契機に生活スタイルを見直そう、節電に心がけようという風潮になっている。これを好機と捕らえ、さらなる健康活動の普及啓発の実践をしてほしい。

環境課長 町内事業所に対して「わが社のエコ宣言」に登録、省エネ対策を実施していただくよう募っています。現在169社となっています。また、住民への啓発活動として、地区に向き「家庭でできる節電対策」の説明会を実施していきます。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



渡辺 善春 議員

問 公共施設利用料金の合併後の改正は

答 条例の改正も含めて使用料徴収の是非を検討していきたい



松岡河川公園

態をとる三つの公園は、使用料の設定に不均衡があるのではないかとの指摘もありますので、条例の改正も含めて使用料徴収の是非を検討していきたいと考えております。

問 合併して五年が経過したが、現在の公共施設利用料金体制でいいのか。特に三地区にある河川公園を利用する方の料金に疑問を持つものではないか。合併後これらの施設の利用料金体制の条例が改正されたのか。それとも合併前の料金体制となっているのか。

生涯学習課長

松岡河川公園のみ合併前より定められていたことから、現在も同額の使用料の納入をお願いしています。永平寺河川公園



谷口河川公園

及び中島河川公園については、合併前より使用料金は設定されていなかったことにより使用料はいただいております。しかしながら、同様の河川公園の形



中島河川公園

防災備蓄用品の確保は万全か

県の備蓄基準値を上回っています

問 先の東日本大震災において飲料水の不足及び食料等の確保が不十分であったと思われる。本町においても災害が発生した時の心配が頭によぎるが、本町には何日分及び何人分の備蓄がされているのか数量を教示願いたい。

また防災協定も結んでいるのか。

総務課長

災害時の備蓄については県が福井震災と同等の地震災害が発生した場合、約5万8千人が被災する想定をしています。この被災者の一日3食の3日分を人口で案分して、各市町に備蓄基準値を定めています。本町の場合は飲料水は2826ℓとなります。それ以外に耐震性の貯水槽、60tクラスが4カ所あり、24万ℓ貯水してあり、はるかに基準値を超える備蓄量となっています。同じようにアルファ米・パン・缶詰・クラッカー等の食料は3400食分備蓄しており、県が示す備蓄の基準値を上回る備蓄を現在しています。

問 最近問題となっている賞味期限はどうなっていますか。



防災備蓄品庫 (ふれあいセンター)



原田 武紀 議員

問 「自然災害から子どもを守る」 教育や訓練は!!

答 避難訓練は消防の指導で年2回実施

問 東日本大震災で死者・行方不明者千三百人を超えた岩手県釜石市では、小中学生約三千人はほぼ全員無事だった。これは同市が数年前から実践的な防災訓練に取り組んできた成果で、「ハザードマップ等に過度に依存せず・自らの命は自ら守る」人間の対応力を鍛える教育「だった」といいます。

消防長 町内の小学七校・中学三校には、年二回消防職員が出向いて、火災や地震を想定した避難訓練を行い、訓練後の検証も行っています。

子育て支援課長 園児への防災教育は、全園が同じ内容で「近くにいる保育士の顔を見る、指示をよく聞く。手には物を持



ハザードマップ

たない。押さない。しゃべらない。」を基本に、避難訓練は、各園の立地条件を考慮しながら、全園共通の年間計画に基づき毎月一回、必ず行っています。

問 小中学校の避難マニュアルは見直すのか。

教育長 「避難マニュアル」は平成七年の阪神大震災後に作成しましたが、今回の大震災を踏まえ、各学校の地理的状況も考えながら再点検を行い、見直すことを指示しました。見直し後には、児童生徒に訓練を通して指導を行い徹底します。

「防災行政無線」 整備の基本計画は

基本計画の概要はできている

問 「全町の防災行政無線の基本計画と未整備であった旧松岡地区における無線整備の計画書」はできているのか。

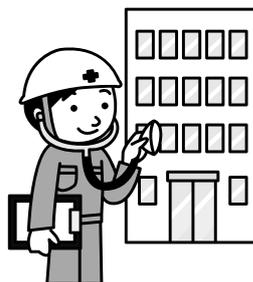
総務課長 基本計画はできています。ただ、上志比、永平寺地区の同報無線の活用、松岡地区の屋外スピーカーの設置数や防災ラジオやケーブルテレビの活用等、細部の検討を現在行っています。

町内会館の耐震工事に 町の補助は

国と町の補助制度があります

問 町地域防災計画で指定避難施設になっている町内会館の耐震診断や耐震工事の補助制度とは。

建設課長 町指定の避難施設で、昭和56年以前の建設であれば、国の避難施設耐震診断促進事業で耐震診断も含めた改修費用に限度額があります。が、国1/3・町1/3の補助制度があります。



防災無線



川治 孝行 議員

問 有害鳥獣対策ネット柵の啓発は？

答 協議会及び講習会で啓発

問 毎年増加傾向にある有害鳥獣被害に対して、各市町村では対応に苦慮しているところでありま

すが、被害防止対策としてソフト面 ハード面での2種類の対策があるかと思

います。永平寺町においては、ハード面での対策として、県単事業の

「鳥獣害のない里づくり推進事業」に他の市町村に先んじていち早く取り

組まれたことは住民にとって有意義な施策であり

ますが、地域住民に対する啓発は、今後どのように取り組んでいくのか伺

います。
現在電気柵が設置されている箇所は、どのような取り扱いになるのか。

農林課長 既存の電気柵は補助金の関係から5年間は撤去できません。

問 既設電気柵と並行して設置出来ないのか。
農林課長 並行しての設置は可能です。
問 ネット柵の補助率

及び 地元負担額、m当り最高限度額について伺います。

農林課長 ネット柵の補助金県1/2、町1/4、地元負担1/4、整備単価は施工費込み5,000円/mです。

問 事業主体は永平寺町鳥獣害対策協議会とのことですが、ネット柵の工

事発注はどのようにするのか又製品の選定は地域住民に任せるのか又は協議会で指定するのか伺

います。
農林課長 工事発注及び製品については地元のご意見を伺い永平寺町鳥獣害対策協議会で発注いたします。



有害鳥獣対策ネット柵

機能補償道路の町道交差点改良は？

福井県と協議のうえ対応する

問 機能補償道路工事の家屋連担区域の冬期間の除雪は如何にするのか伺

います。
建設課長 福井県と協議し機械除雪で対応します。

問 交差点部の町道は幅員狭小のため、危険な状態にあることから、交通

渋滞や交通事故に繋がりますが、今後の交差点改良計画の有無について伺

います。
建設課長 福井県と協議し本年度中に町道拡幅で事故防止に努めます。

問 完成区間について一部供用開始の協議をしているのか伺います。

建設課長 光明寺から浅見区間の工事が完了した時、全線供用開始の予定です、但し一部集落内は区民の利便性を考慮し供用の方向で協議をして

います。一部分供用開始は致しません。



機能補償道路





川崎 直文 議員

問 自主防災組織連絡協議会 設立の時期はいつごろか

答 8つの地区で 平成24年度までに設立する

問 自主防災組織連絡協議会の設立が進められています。最初に設立の経緯、趣旨についてお伺いします。

総務課長 平成21年に町内全地区90地域で自主防災組織が結成されました。活発に活動をされているところとそうでないところがあります。

そこで、全町の8つの地区で自主防災組織連絡協議会を立ち上げ、協力体制を構築し、地区から地域での活動に広げます。防災活動の強化推進、協議会単位での訓練、防災に関する情報の共有化に取り組み、備蓄品、避難所等について協議会レベルで新たに進めていくこととなります。

町長 各地区と、学校、幼稚園、福祉施設等と連携のとれた協議会を立ち



防災訓練

上げ、いろいろな災害に対して自主防災の機能が発揮できる体制をつくり、防災の町を目指します。

問 自主防災組織連絡協議会を立ち上げるのですか。設立の時期はいつごろですか。設立推進の部署はどこですか。

総務課長 今年度から2ヶ年の間に8つの地区での設立を考えています。推進していく部署は、本庁総務課と消防本部です。連携をとって進めていきます。

鳥獣被害対策実施隊の設置は

平成23年度内に設置する

問 鳥獣、特にイノシシによる被害が農作物から農業用水の施設、林道等へ広がり、時期も早まっています。ハクビシン、アナグマ等の中獣類が家の近くで出没し、農作物の被害が増えています。鳥獣被害対策のより迅速な実施が求められます。

この状況を踏まえ、再計画された町の鳥獣被害防止計画についてお伺いします。捕獲おり、防護柵、緩衝帯の設置、鳥獣被害対策実施隊の設置、狩猟免許取得者の増員についてお答えください。

農林課長 捕獲おりは、イノシシ用を5基、ハクビシン等の中獣類用を5から10基、毎年必要に応

じて整備していく予定です。防護柵については、電気柵に加え、新たにネット柵を設置します。防護柵を設置した地区との協定書に基づき、緩衝帯の設

置を推進します。今年度中に鳥獣被害対策実施隊を設置し、有害鳥獣の個体数の減少を図る体制を強化します。5月の町広報紙でも狩猟免許取得者の募集をしました。さらに免許取得を推進します。



イノシシ捕獲おりの捕獲準備作業



伊藤 博夫 議員

問 防災拠点施設の 太陽光発電設置状況は

答 3つの小学校で設置しております



上志比小学校ソーラー



志比小学校ソーラー



御陵小学校ソーラー

問 主要な公共施設や防災拠点となる施設の太陽光発電システムの進捗状況と今後の取り組みは。

環境課長 現在、指定されている御陵・志比・上志比小学校の三校に設置しており、まだ防災拠点である施設が二十三あります。今後目標を掲げ、国の補助金等も勘案し導入したいと思っております。

企画財政課長 このダムは県の施設であり水の権利の問題、またイニシャルコストやメンテナンスコスト等の考えもあり、総合的に判断と研究をしたいと思います。

永平寺ダム

問 永平寺川ダムから放流される水を自然エネルギーとして大本山永平寺近隣で利用した場合、PR効果は高いのでは。これまでと今後の活用は。



永平寺ダム

実施計画は3年間のローリング方式では？

問 国から用意された合併特例債の94億1千万円の借入状況と基金造成15億7千万円の借入積立額は。

企画財政課長 2010年までに2億410万円を借入し基金

造成の借入はしております。将来的に大型プロジェクト事業も幾つかあり、平成27年度以後に取り組む事業について、今後借入の検討をしたいと思います。

合併特例債の借入状況と 基金造成は？

問 総合振興計画の基本計画に定めた各施設や事業を具体的に示した計画で予算編成の三年間の期間を中長期計画の整合性を図り毎年見直しし、部分修正を行うローリング方式であるが、どうされているのか。

企画財政課長 三年計画を初年度で見直すとは年度も新たに三年間の計画を策定し、国の政策や色々動向が変化する、ソフト面での子育てや医療関係等、社会情勢に合った三年間のローリング方式の計画で策定しております。

越前加賀 宗教文化街道推進協議会

問 2014年度末に北陸新幹線金沢駅の開通を見越して設立した越前加賀宗教文化街道推進協議会はそのような組織か。

商工観光課長 宗教文化資源の観光面での活用を目指し大本山永平寺を初め勝山市の平泉寺、あわら市の吉崎御坊、坂井市瀧谷寺、加賀市山の下寺院群等、心の文化資源と結びつけ、様々な付加価値をつけた商品開発や

資源の魅力向上・情報発信を広域で連携していく協議会です。





長岡千恵子 議員

問 公園整備事業に伴う有害鳥獣対策は

答 山の森林構成も検討したい

問 松岡公園整備事業の第一期工事は、合併特例債を利用してきますが、第二期工事になると合併特例債が期限切れになります。不足金はどうするのですか。

第一期工事終了時点で工事を中止した場合、この事業に対する補助金はどのようなのですか。

現状の松岡公園は木がうっそうと茂り、熊や猪が出没してもおかしくないほど荒れています。松岡公園を整備するにあたって、有害動物が出発しないように、山の奥の場所、動物の餌となる樹木植栽が必要です。また、公園整備に果樹園が計画されています。果実を求めて動物が出発すれば、公園に訪れた人々の安全を確保することができません。人々の安全を確保する上でも、山を元の自然に戻す事業が先ではないでしょうか。

建設課長 果樹植栽は



松岡公園

児童たちに収穫体験の喜びをと計画しました。有害鳥獣に対する備えも非常に大切です。有害鳥獣の出発時期を外して収穫できるような種類があるか専門家の意見を参考に、花壇の植栽など整備内容を十分検討します。

企画財政課長 合併特例債期間は平成27年までです。一つの方法として合併の特例で造成基金を設けることができます。状況に応じて視野に入れていきます。

問 有害動物といえ共存していかなければなりません。

せ。共存する上で動物の餌になるドングリやシイの実があれば、動物はそこに留まるでしょう。実のなる広葉樹は含水量も高いため、災害防止にもなります。ぜひよろしくお願いします。

町長 広葉樹で実のなる木を山に植えるという事は非常に大事です。植樹については十分検討します。



お館の椿

町指定文化財の管理と保全は誰が…

後世に残るよう前向きに検討

問 町指定の文化財は全町で何カ所あって、誰が所有して、誰が管理していますか。

問 お館の椿の状況をどう思いますか。その対処方と町としての姿勢をお伺いします。

生涯学習課長 国宝、重要文化財を含めて44件あります。管理は条例により所有者または管理責任者になっています。

生涯学習課長 立ち枯れが進んでいる状況です。専門家の意見を仰いで、お館の椿が後世に残るよう保護策を検討します。



大廻り史跡

問 大廻り史跡の説明書きが読めなくなっています。整備の予定はありますか。

生涯学習課長 看板の老朽化も承知しています。その他の文化財の看板も書き換え等を検討します。



小畑 傳 議員

問 上志比地区に建設予定の温浴施設、原点に戻ってこれでいいのか

答 健康増進、介護予防余暇の活用が目的

問 合併時、旧上志比村は旭ヶ丘に福祉施設・教育施設・文化施設を集約し後に社協の本部も置かれ地域にとって優れた拠点であり、現在も有効活用されています。しかし合併に伴い福祉の郷づくりとして、何故清水区に温泉掘削を行ったのか？

健康施設室長 旧上志比村が、自然放射線や電磁波による地下探査をして、近隣の温泉状況・交通の便などを考慮して場所を決めました。

問 何故合併直前なのか、合併後に出来なかったのか？の疑問の中千七百m以上も掘り進んでやっと湧出しました。そこまで掘るんだったらどこでも出ますよ。その後、議会の温泉活用特別委員会でも議論をしています。この温泉が二万人の町民にぜひ必要と言う理由がみあたりません。県内他市町での温泉整備は約十年前にほぼ終了しています。要するに、行政で取組んで良いか、悪い

かは検証済で県の方も承知していると思います。まして、東日本大震災の反省に立ち、防災やインフラ整備、さらには原発にどう対処するのかが大事で温泉ありきではありません。それでもやると言うことですか。

健康施設室長 非常に良質な温泉を、多くの町民に利用していただき、健康増進・介護予防・余暇の活用につなげたいと思っています。

問 集中した施設が整備されながら、何故清水区

で取組んで良いか、悪い



上志比旭ヶ丘地区



サンサンホール

町長 今、CAMU湯には年間三万人ぐらの利用をいただいています。費用も年間二千万円ぐらしかかっていますが、老朽化が進んでいます。そういう中で十七年十二月に温泉掘削を始め十八年七月に湧出しました。当時の合併協議会での話は、「とにかく掘削してもらえば良い、それから後については、合併後にどういう形で整備をするかと言うことを考え

なにか 今さらやる時期ではないと思うが？



CAMU湯

ていきましたよ。」と言うことで掘削を始めました。これまでもいろんな意見をいただいています。町民の皆さんが、この施設に非常に期待を

設に非常に期待をされていることを、十分に感じています。

問 CAMU湯が老朽化しているとのことですがポイラーとかが良くないとは聞いていますが、自身CAMU湯につかっの感じは、そんなに老朽化しているとは思いません。湧出の湯は非常に



やすらぎの郷

良質だといいますが、裏を返すと厄介です。塩分鉄分が濃いのは、機械機器が大変痛みが早いのと除鉄をすると湯温が下がり、沸かす機器が別途必要になります。

※この他に②旧松岡福祉会館の跡地利用はどうするのか③東日本大震災による耕作不可能田の代替え耕作は、なぜ？④コムギ「福井県大3号」の生産・普及の取組みは。の質問をしました。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。



多田 憲治 議員

問 合併特例債で庁舎建設の考えは!

答 新庁舎建設は考えていない

問 合併時に、住民は国の誘い水でもある合併特例債も視野に入れ、過去の長い三町村の歴史を精算し、将来の財政不安の解消と新しい町づくりへの期待で、今日の合併に至ったという経緯を忘れないでほしい。住民から見れば合併は単なる国の脅かしで、特例債は棚の上の牡丹餅に過ぎなかったと、後世に言われなければならないようにしなければならぬ。

答 我が町永平寺町の現在の本庁舎を顧みると、昭和30年に新松岡町が誕生し、沼地で適地ではなかったと聞いているが、三町村の中心でもあり、昭和34年に新庁舎がこの地に建設された。この庁舎も52年が経過し、鉄筋建築の耐用年数60年も間近である。

合併の目的でもある行政改革による職員減により、近い将来、支所も廃止という状況の中、昨年度実施した松岡本庁舎の耐震調査の結果は、構造耐震指標I-S数値が大きく下回ったCランクと判定された。今回6月補正で当時の松杭基礎の状態を確認する試掘予算が、約400万円計上されている。今年度実施するこの基礎確認調査の結果においては、庁舎耐震工事、基礎の補強工事も含めると4億から5億の莫大な予算を投じてまで、町民の城、松岡本庁舎を耐震工事に突入することが、妥当なのかと考えるのは私だけか。平成27年度までの合併特例債使用期限の猶予の中、約2/3の起債額助成が受けられる合併特例債で、教育委員会も本庁舎に入れ、会議も消防庁舎の間借りでなく、駐車場も広い所での新庁舎建設、また、代替案の考えはないのか。

監理課長 耐震補強工事を、行うことよって後30年から40年は耐えられると聞いており、新庁舎建設は考えていない。

代替案として本庁を永平寺支所に移す考えは?

問 いずれは到来する二次合併に対応するために、松岡地区だけではなく永平寺町全地域を守る

意味合いから、この地で本庁を移行せずに32年しか経過してない永平寺支所に本庁を移す考えはな



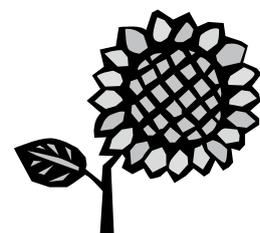
永平寺支所



上志比支所

町が続く限り、上志比支所の存続を要請する

問 この本庁舎から、永平寺支所まで3km、上志比支所まで9.7km、我々東部地区からでは13kmの遠距離で、そのような答弁



町長 いろんな意味を考えたから検討、研究もしていかなければならないと思っ



齋藤 則男 議員

自主防災組織の強化と新たな「防災訓練」の取り組みや考えは

答 さまざまな面での見直しを進めます

町の防災対策の見直しは

問 東日本を襲った大地震、大津波そして、福島原発の放射能漏れ、未曾有の大災害となりました。防災計画、特に原子力防災計画の見直し、近隣の自治体との連携をも含めて、広域的に見直すような取り組みを行わなければならないと思われま

答 ます。東日本を襲った大地震、大津波そして、福島原発の放射能漏れ、未曾有の大災害となりました。防災計画、特に原子力防災計画の見直し、近隣の自治体との連携をも含めて、広域的に見直すような取り組みを行わなければならないと思われま

ます。東日本を襲った大地震、大津波そして、福島原発の放射能漏れ、未曾有の大災害となりました。防災計画、特に原子力防災計画の見直し、近隣の自治体との連携をも含めて、広域的に見直すような取り組みを行わなければならないと思われま

福祉（サロン）事業の理解は

問 ふれあいサロン事業の目的、その趣旨、その対象者は、そして、この事業が十分に理解されているか。

答 福祉保健課長 地域ふれあいサロンの事業の目的は、在宅の高齢者が健康で生きがいをもって安心して暮らしていくため、おおむね65歳以上で一人暮らし高齢者、閉じこもりがちな虚弱な高齢者や家族介護者が主で、地域のなれ親しんだ皆さんとサロンにより楽しい

等々、さまざまな災害に對しての計画の見直しを進めてまいりたいと思えます。また訓練については、地域に密着した実践的な訓練をやっていく方向で、今、自主防災組織の協議会の立ち上げを進めており、災害時に十分対応できるような訓練を行ってまいりたいと考えているところですよ。

等々、さまざまな災害に對しての計画の見直しを進めてまいりたいと思えます。また訓練については、地域に密着した実践的な訓練をやっていく方向で、今、自主防災組織の協議会の立ち上げを進めており、災害時に十分対応できるような訓練を行ってまいりたいと考えているところですよ。

起業家、起業グループに支援を!!

問 地道に特産品の開発やPRに努めている団体等に対して、その育成や支援等について、町としてどのように考えているのか。

答 把握し、連携をとりながら、町としても出来ることを支援していきたいと考えております。

農林課長 永平寺町には農村女性起業グループとして9グループが活動しております。

起業グループ・県・町の3者が年4回検討会を開催し、永平寺町の現状報告、他市町の起業グル



ハンドメイド風ふう



市右エ門島サロン

取り組み等の情報交換を定期的に行っておりま

※このほかに、町の観光の取り組みについて、えちぜん鉄道の現状とこれからの課題について、上志比地区の河内川、南河内川の災害対策についての質問もいたしました。



金元 直栄 議員

問

町職員の採用計画で、国体目指したスポーツ振興を!

答

いい提言。今後十分検討していきたい

問 町は国体を目標にしないで、常にスポーツ振興を見据えてもらいたい。特に大量の退職者がある中、職員採用を年により不公平にならないよう、平均化した計画を持ち、その中に町内のスポーツ振興のためにも、全国クラスのスポーツ選手を、特別枠を設けて採用してはどうか。

本町職員にもスポーツ少年団の育成をはじめ、地域のスポーツ振興に大きな役割を果たしている人達がいることは心強いことだ。



松岡中学校部活

総務課長

スポーツ選手や指導者の採用は、専門的な資格を持つた職員採用と同様、重要なことです。県内の自治体が連携し、業務を実施する、事務の共同化の中で考えられないか、提

案していきたいと思いません。また、職員採用の平均化も、専門職員も含め、計画的な採用を考えていきます。

町長 平成30年の福井国体では、町内でもいくつかの競技が実施されるよう提案しています。町職員の採用も難しい時代ですが、いろんな形で仕事を進める人が望ましいと思っていて、非常に良い提言で、今後十分検討したいと思います。

町の防災計画、地震や原発事故等で見直すべき本町の課題は!

すべての分野の見直しを予定

問 町の防災計画にある「自らの命は自らが守る」の記述のねらいは何か。

総務課長 災害では自助、共助、公助という形で対応が進められますが、災害時に異常をいち早く察知し、正しい行動で自分の命を守るという考えです。

問 岩手県釜石では「津波でんでんこ」という言い伝えに基づいた地道な訓練で、三千名近くの幼児や小中生の殆どが被害からまぬがれたこと。一方、宮城県石巻のある小学校では、子供や先生の多くが津波の犠牲になるといことがあった。

私は「自らの命は自らが守る」を現実のものとするのが町の防災計画だと思っている。これが今

回の災害の教訓だ。

また、平成十九年に町の防災計画の中に指摘したのに、原発災害計画は必要ないとした県の指導はあまりにもお粗末だ。

介護保険、安心して町内で暮らすために町の目指す方向は?

介護保険計画策定の中で

協議したい

問 国会では十分な審議もなく介護保険法の改定が決められ、軽度者には利用しにくくなる方向が示されている。町での選択でサービスの内容が変わる「総合事業」とは。

応ずることを考えています。

福祉保健課長

町では保険料の高騰を抑制しようと考えており、総合事業は町の福祉事業充実で対



健康診断



松川 正樹 議員

問 永平寺温泉は本当に健康福祉施設になり得るのか

答 施設を利用した福祉施策を進めます



松岡西幼稚園

問 幼稚園によって園児数に違いがありすぎるが、それによる不都合はないのか。

多い、少ないには、それぞれいい面もある

幼稚園の園児数にバランスの問題はないか

0歳児を受け入れていくかどうか、7時まで延長しているかどうかで、園児数に違いが出てくる。少ない園では混合保育もある。混合保育の良さも理解できるが、保護者は敬遠しがち、ますます減ってくる。園児数にバランスがあった方が保育士の配置などにも都合が良いのではないかと。アンバランス解消のために、全ての園で0歳児OK、7時までという案も

問 募集要項の中身を相当数の時間をかけて協議したものの、まだ問題は残されています。町はあくまでも介護予防、健康増進、余暇活用の3点を目的とした健康福祉施設と言っけれど、その健康づくりのためのメニューはお寒い限りで、業者任せ。健康づくりの主体は町ではないですか。

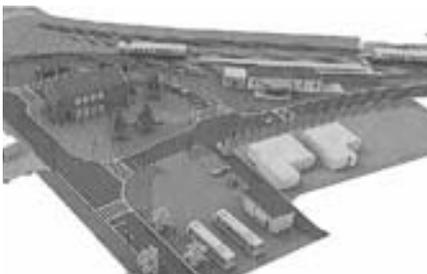
町として健康教室以外の様々なメニューを用意すべきです。せめて保健師が常駐できることくらい考えられないのか。
健康施設室長 運営事業者からの提案を見て、町からも町民の健康増進に役立つ施策を出していきたいと今考えています。



赤レンガ倉庫



永平寺口駅



永平寺口駅前広場整備計画の完成イメージ図

出ていると聞いているが。
子育て支援課長 園児数が多い園では、ルールを守る協調性が伸ばされます。少ない園では家庭的な雰囲気や下の子供をいたわる心が出てきます。
全ての園に0歳児となりますと設備も必要です。住民のニーズがあるのなら、今後の検討課題かと思われま。

問 駅前整備に4億円投入するが、どの程度の効果が期待できるのか疑問もありません。レンガ造りの旧変電所をリニューアルしても、どれだけの集客力があるのか。駅を

問 遊歩道沿いに桜の並木をという提案もあるのですが、これはいいと思います。周辺の住民の理解をぜひお願いしたい。
企画財政課長 地元で用地に花壇とか植樹という箇所もあります。地元活性化協議会と十分相談していきます。

「永平寺口駅周辺整備」4億円投入の費用対効果は十分に期待できるか？

南北につなぐことは大切です
地元と十分協議していきます

中心として道路を南北につなげないと、駅前が活性化するのは難しい。もう一つは東古市全体の再開発が力ギです。東古市は成長の潜在力を持っています。成功のためには、東古市の人口を増やすことも大切ではないか。

企画財政課長 永平寺東インターから永平寺口駅前に入り、国道四一六号への接続道路は駅前広場を活性化するために不可欠です。東古市全体の再開発も区画整理をしたらということでしょうが、地元のまちづくり協議会の意見もお聞きしながら検討していきます。
※その他「NHKのど自慢大会を町としていかに盛り上げるか」という質問もしました。

※健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。

進めています IT化!

議会では、情報伝達スピード化、情報の共有、そして、経費削減のため、コンピューターや携帯電話のメールやウェブを使っているグループウェアの活用を進めています。電子化することによって、郵送費の削減はもちろんのこと、資料のデータ化による情報の共有、紙の削減ができ、また緊急の行政情報を議員が知ることもできるようになります。

パソコンや携帯電話メールに不慣れな議員も多いなか、少しでも早く慣れるように永平寺中学校のコンピューターールームをお借りして研修会を開き、積極的にIT化を取り入れています。(記 河合)



1ch 行政チャンネル週間番組表

■放送期間
2011年8月12日(金)~8月15日(月)

時	8月12日(金)	8月13日(土)	8月14日(日)	8月15日(月)	時
8	00 ①第2回町長招集あいさつ 26 文字告知放送	00 本会議 前半	00 一般質問(2日目午後②) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(1日目午後②) 川治孝行議員 斉藤則男議員 原田武紀議員	8
9	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 小畑伝議員	27 文字告知放送 00 本会議 後半	47 文字告知放送 00 予算特別委員会	39 文字告知放送 00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 川崎直文議員 上田誠議員	9
10	39 文字告知放送				10
11	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 伊藤博夫議員 渡辺善春議員	20 文字告知放送 00 ②第2回町長招集あいさつ	00 文字告知放送	55 文字告知放送 00 一般質問(2日目午後①) 松川正樹議員	11
12	51 文字告知放送	26 文字告知放送			12
13	00 一般質問(1日目午後②) 川治孝行議員 斉藤則男議員 原田武紀議員	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 小畑伝議員	00 本会議 前半	03 文字告知放送 00 一般質問(2日目午後②) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	13
14	39 文字告知放送	39 文字告知放送	27 文字告知放送		14
15	00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 川崎直文議員 上田誠議員	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 伊藤博夫議員 渡辺善春議員	00 本会議 後半	47 文字告知放送 00 予算特別委員会	15
16	55 文字告知放送	51 文字告知放送	20 文字告知放送		16
17	00 一般質問(2日目午後①) 松川正樹議員	00 一般質問(1日目午後②) 川治孝行議員 斉藤則男議員 原田武紀議員	00 ②第2回町長招集あいさつ	00 文字告知放送	17
18	03 文字告知放送	39 文字告知放送	26 文字告知放送		18
19	00 一般質問(2日目午後②) 金元直栄議員 滝波登喜男議員	00 一般質問(2日目午前) 酒井要議員 川崎直文議員 上田誠議員	00 一般質問(1日目午前) 上坂久則議員 長岡千恵子議員 小畑伝議員	27 文字告知放送 00 本会議 後半	19
20	47 文字告知放送	55 文字告知放送	39 文字告知放送		20
21	00 予算特別委員会	00 一般質問(2日目午後①) 松川正樹議員	00 一般質問(1日目午後①) 長谷川治人議員 多田憲治議員 伊藤博夫議員 渡辺善春議員	20 文字告知放送	21
22	00 文字告知放送	03 文字告知放送	51 文字告知放送		22

議会の情報を永平寺町のホームページで見ることができます

アドレスは <http://www.town.eiheiji.lg.jp/> (永平寺町役場)
【住民サービス】 → 【行政情報・議会】 → 【議会からのお知らせ】

平成23年 第3回 永平寺町議会定例会開催

- ◆日程 8月 30日(火) 10:00~ 本会議
9月 5日(月)・6日(火) 10:00~ 一般質問
7日(水) 9:00~ 予算特別委員会
9日(金) 14:00~ 本会議
12日(月) 10:00~ 本会議(予備日)

◆場所 本庁役場3階 議場

※本会議・予算特別委員会が生中継されます。
※日程などは、都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●お詫び

前号(第22号)の議会だより予算審議の学校教育課(P8)、「定期代2000円を超える分に対して2割の補助をしている」を「小中学生は定期代2000円を超える分に対して全額の補助をしている」にご訂正願います。深くお詫び申し上げますとともに、お知らせ下さいました住民の方に厚くお礼申し上げます。

議会広報特別委員会

議会だよりもお世話になっています!!

点訳サークルのご紹介

「松岡サンライト」

永平寺町の点訳サークル「松岡サンライト」をご紹介します。

平成8年に発足し、町の広報紙や「ほほえみ」、「ボランパ」をはじめ、議会だよりも点訳して頂いています。今では県立盲学校図書館の本を点訳できるだけの実力者ぞろいとなりました。毎月1回の例会ですが、各自で家でも、点訳されています。その他の活動としては、町内の小学校や児童館でも点字教室を開いているそうです。平成14年よりパソコン導入、平成19年より音声で読み取り、見直しをするようになり、点訳もスピード化してきたとのことですが、それにしても大変な作業かと思えます。心から感謝と敬意の意を表するものです。

議会だよりもいろいろとご意見を頂きました。親しみやすい、読んでもらえる紙面づくりに本当に役に立つことばかりでした。すぐに実行したいと思っています。

議会だよりを点訳することによって「私たちも議会だよりを読むことで、傍聴にも出掛けたし、より一層関心を持てるようになったことは収穫です」とのことでした。私たち



会広報の委員として、私たちの発行する議会だよりを隅から隅まで少なくとも3回は熟読するとお聞きしただけで感謝感激なのに、点訳される方々にとっても勉強になるとのこと、これ以上の喜びはありません。ありがとうございます。

目の不自由な方々のためということですので、どうぞ、点訳の議会だよりが御入り用の方は、ご遠慮なく議会事務局あるいは社会福祉協議会にご連絡ください。ご家族の方でも結構です。必ずご自宅までお届けいたします。

また、いつでも点訳サークルに入っていただくことも大歓迎のことです。活動場所は松岡公民館です。苦勞して点訳した本が出来上がった時は、達成感がみなぎり、快感と喜びが湧いてきますとのこと、私どもの方からもご入会をお願い申し上げます。(記 松川)

点訳サークル松岡サンライト会員

講師	勘 坂 一 子			
代表	武 信 子			
副代表	山 尾 ちえ子	会 計	室 林 洋 子	
会 員	近 藤 節 子	会 員	寺 尾 さとみ	
〃	中 谷 和 子	〃	森 ちさと	
〃	伊 吹 多美子	〃	林 由美子	
〃	石 井 美 鈴	〃	市 村 礼 子	
〃	石 川 勝 代	〃	松 村 あけみ	
〃	村 井 里 佳	〃	蓑 裕 美	



右側は点訳されたものです

編集後記

今は何を話しても、人が集まっても大震災と原発災害、これらへの対応が話題となっております。

特に原発災害の深刻さには、目を覆うばかりです。目に見えない放射能汚染、収束の見えない不安、ふる里を離れての生活。

原発の安全神話の上に「想定外」の無策がもたらす対応の遅れと災害の拡大。一方で目を覆いたくなるような国政のいざこざ。

こんな時こそ、よりどころとなる身近な地方自治体がたよりです。

議会の役割は大きい。

(記 金元)

議会広報特別委員

- 委員長 松 治 正 人 樹
- 副委員長 長谷川 治 正 人 樹
- 委員 伊藤 博夫・小畑 誠 傳
- 委員 金元 直栄・上田 直 紀
- 委員 河合 永充・川崎 直 紀
- 委員 滝波 登喜男・原田 武 紀
- 委員 長岡 千恵子(写真担当)